第１学年３組　保健体育科学習指導案

指導者　　塩見　夏貴

１　日　時　　令和４年１２月２日（金）第６校時

２　単　元　　ダンス（創作ダンス）

３　単元について

（１）教材感

ダンスは、「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りでの交流を通してなかまとのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、なかまとともに思いを込めて踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。中学校のダンスの授業では、イメージをとらえたり深めたりする表現をすること、伝承されてきた踊りを踊ること、リズムに乗って全身で踊ることや、これらの踊りを通した交流や発表ができるようにすることが求められる。ダンスはリズミカルな全身運動であり、継続して行うことで柔軟性、平衡性、筋持久力などが高められ、中学生の時期に行うことは大変効果的である。

（２）生徒・学級の実態

　　　本学級は男子１４名、女子１６名の計３０名で、ほとんどの生徒は動くことを好み、活動には積極的に取り組む生徒が多い。男子の多くはダンスに対する恥ずかしさはなく、模範動画のまねをして楽しく踊ることができる。女子は小学校からの人間関係等から、お互いに気を使っている様子があるため、全員の雰囲気がほぐれるまで時間がかかる。話合い活動では、自分ができていることを教えることはできるが、自分の課題や他者の課題に気付いたり、課題について具体的に意見を出し合ったりすることが苦手であるため、課題に迫るための支援が必要である。

（３）指導上の基本方針や留意点

　　　ダンスの本質である音楽に合わせて楽しく踊る感覚が身に付けられるように、ランニングや体操の時にも音楽をかける。授業では、集中力が続かない生徒が多いため、タブレット端末を使う時と活動する時を明確に分け、同じ活動の時間が長く続かないようにする。話合い活動では、具体的に話し合いを続けるためのヒントカードや単元のねらいを配布し、ポイントが分かるようにする。

４　目　標

・ダンスの特徴を理解し、基本的なリズムやステップを表現できるようにする。（知識・技能）

・ダンスの課題を見つけ、取り組み方を工夫したり、自分の考えたことを他の人に表現したりす

ることができる。　（思考・判断・表現）

・ダンスや話し合い活動に積極的に取り組み一人一人の違いに応じた表現の仕方を考えられたか。また、友だちの学習を援助しようとしている。　（主体的に学習に取り組む態度）

５　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 気に入ったテーマを選び、ストーリー性のあるはこびで、一番表現したい動きをひと流れで表現し、はじめとおわりを付けて簡単な作品にまとめて踊ることができる。 | 踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と、自己やなかまの表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由をなかまに伝えることができる。 | 　作品創作などについての話し合いに貢献しようとし、なかまに課題を伝え合ったり、教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 |

６　指導計画及び評価計画（10時間扱い）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 主な学習活動 | 評価規準〔評価方法〕 |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| １ | オリエンテーションでダンスの種類と特徴を理解し、ジェスチャーゲームから人へ伝えるための表現の仕方を考え、実行する。 | 　それぞれの踊りには、その踊りの特徴と表現の仕方があることについて理解する。〔知①記述分析〕 | 表したいテーマにふさわしいイメージの特徴を捉えた表現の仕方を考えることができる。〔行動観察〕 |  |
| ２ | 現代的なリズムのダンスの基本的なステップを学習し、創作ダンスの発表会に向けて練習する。（本時） | 　 | 　作品創作や発表会に向けてなかまと話し合う場面で、合 意形成するための関わり方を見付け、なかまに伝えてい る。〔記述分析〕 | 作品創作などについての話し合いに貢献しようとしている。〔行動観察〕 |
| ３ | 創作ダンス発表会を行い、お互いに評価し、自己の課題やなかまの課題に気付き、改善点を伝える。 | テーマを選び、表現したい場面をひと流れの動きで表現して、簡単な作品にまとめて踊ることができる。〔技①発表〕 |  | 一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようと している。〔行動観察〕 |

７　本時の学習指導

（１）目　標　　・ダンスや話し合いに積極的に取り組み、一人一人の違いに応じた表現の仕方を考えられたか。（主体的に学習に取り組む態度）

（２）準備物　　タブレット端末（ロイロノート）

（３）学習指導過程

|  |  |
| --- | --- |
| 学習内容及び学習活動 | 教師の支援、配慮事項（◎は伝え合い・学び合い活動に重点を置いた配慮事項）（は評価〔評価方法〕　●はＢに至らない生徒への手立て） |
| １　整列、挨拶、健康観察を行う。２　ランニング、体操を音楽に合わせて行う。３　説明を聞き、グループに分かれる。　　４　グループで話し合い、創作ダンスを考え、練習する。５　中間発表会をする。　　・音楽に合わせて１６拍のみで発表する。６　本時のまとめ、感想を書く | ・隊列や所作を揃えるように呼びかけ、規範意識をもたせる。・ランニングの曲はリズム良く走れるようにアップテンポな曲で130BPM程度のものを選択する。・体操は教師が前で模範し、リズムに合わせて指示をする。発表に向けて、表現の仕方を考えよう。・学習支援ソフト（ロイロノート）を使用し、１時間の流れを確認できるようにする。・グループは今の生活班とし、仲のいい生徒だけで固まらないように指示する。　ダンスや話し合いに積極的に取り組み、一人一人の違いに応じた表現の仕方を考えられたか〔行動観察〕●　机間指導をしながら、教員が会話に入り、自分の気持ちが表現できるようにする。・学習支援ソフト（ロイロノート）等を活用し、グループの全員が考えを共通理解できるように提案する。◎　発表後にクイズ形式で工夫したことや、具体的な場面を予想させて発表することによって、他のグループの発表の意味を考えられるように助言する。・他のグループの発表中は自分たちの行動をやめ、見ることに集中するように伝える。・本時の自己評価や、自分や他のグループの改善点を具体的に書くように伝える。・健康観察をし、けがの予防、体調管理に留意できるようにする。 |

○評価基準 ＜主体的に学習に取り組む態度＞

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | Ｂ |
| 過去の経験をもとにダンスの構成について積極的に話し合い、一人一人の違いに応じた表現の仕方を提案したり、助言したりすることができたか。 | 過去の経験をもとにダンスの構成について積極的に話し合い、一人一人の違いに応じた表現ができたか。 |